

令和5年度 朝来市立東河小学校経営方針案

兵庫県基本理念(第3期ひょうご教育創造プラン 4/5 年次)
兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり
～「未来への道を切り拓く力」の育成～

朝来市基本理念(第3期あさご夢・学びプラン 3/5 年次)
ふるさと朝来の未来を担う人づくり
～地域が共に創り上げる教育の推進～

【学校教育目標】

ふるさとを愛し、主体的に学び 考え 行動できる児童の育成
～家庭、地域と想いを一つに東河地区の子どもを育てる～

めざす児童像

- 基礎的な知識・技能を基に主体的に課題解決ができる子
- 地域の方々との交流を深め、ふるさとに愛着と誇りを持つ子
- 他者を認め、思いやりの気持ちを持ち、いのちを尊ぶころ豊かな子

めざす学校像

- 安全が保障されるとともに、誰もが安心して学ぶことができる学校
- 児童が主体となる豊かな学びが実感できる学校
- 学校運営協議会を核に家庭・地域と連携し、地域に開かれ信頼される学校

めざす教職員像

- 健康で子どもたちに笑顔で向き合うことのできる教職員
- 主体的に、学び続け課題に挑戦する意欲に満ちた教職員
- 互いの人権を尊重するとともに助け合い励まし合う事のできる教職員

【重点目標】

- 1 児童を正しく理解し、確かな力を着けることのできる特別支援教育の知見を生かした教育の推進
- 2 すべての児童が学びの主体者となる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改革の推進
- 3 学校運営協議会を核に家庭・地域と連携した「地域に開かれた教育課程」への見直しと再編成
- 4 仕事と生活の調和を図り、家庭や地域においても充実した生き方が実現できる「働き方改革」の推進

【具体的な方策】

◆確かな学力の育成

- ・「基礎的・基本的な知識・技能」の確実な習得とともに、それらを活用した「思考力・判断力・表現力」の向上
- ① 全ての児童を学習の主体者とする授業づくり(主体的・対話的で深い学び=授業づくりのUD化)
「めあての明確化」→「考える時間の保証」→「自他との対話」→「振り返り」
- ② 考えを持ち・広め・比較し、表現力・論理的思考を鍛えるために有効なICT機器の積極的な活用

◆豊かな心の育成

- ・考え、議論する「特別の教科 道徳」に向けた授業づくりのさらなる推進
- ・体験活動や異年齢集団による活動などによる自己肯定感や有用感の醸成

◆健やかな体の育成

- ・体力テストの結果分析をもとにした課題の明確化と、その克服に向けた体育的活動や行事の充実
- ・「食育ハンドブック」を活用した食育の組織的・計画的・継続的な推進

◆ふるさと教育の推進

- ・地域の人との交流を通して、ふるさと東河・朝来・兵庫の「ひと」「もの」「こと」などを中心に学ぶ

◆特別支援教育の知見を生かした児童の育成

- ・朝来市と学校独自で実施したアセスメントをもとに一人一人の児童を正しく理解し、その特性に配慮した指導の充実
- ・インクルーシブ教育システム構築に向けた、教職員の専門性の向上

◆生徒指導の充実

- ・いじめは「どこででも起きる」の認識のもと、児童の変化に敏感な教職員による、いじめの積極的な認知と迅速で適切な組織的な対応と指導
- ・いじめ、不登校を生まない分かる授業づくりと、共に高め合う仲間づくり

◆キャリア教育の充実

- ・キャリアノートの積極的な活用による小中一貫した取組の推進
- ・特別活動を要としたキャリア教育の充実

◆学校運営協議会制度を生かした学校づくり

- ・学校、家庭、地域が一体となり、めざすべき児童像を共有しながら全体で児童を育てる「地域に開かれた」学校づくり

◆勤務時間の適正化

- ・仕事と生活の調和を図り、家庭や地域社会においてもその一員として充実した生き方が実現できる働き方改革の推進

◆教職員の資質・能力の向上

- ・1年間を見通した「キャリアステージ」に応じた資質・能力向上の目標設定と、年度末評価の実施
- ・年間を通じた計画的な研修の実施